

## 平成 29 年度 母子保健事業計画

### 1. 利用者支援事業(母子保健型)の推進 ～妊娠期から出産、育児期まで切れ目のない支援の強化～

- ・ 母子手帳交付と出産準備手当給付事業の手続きを妊娠期の早期の相談の機会とし、妊婦の不安解消や必要な情報提供を行う。
- ・ 特定妊婦や要支援妊婦への継続支援を行う。

※特定妊婦…出産後の子どもの養育について出産前から支援を行うことが特に必要と認められる妊婦

例：若年、望まない妊娠、精神疾患や不安の強い妊婦

将来的な育児の困難さがないか、虐待予防の視点も持ち、早期から支援する。

支援の必要なケースには産後ケア事業や孫育てサロン等のケースに応じた支援を提供

- ・ 子育て応援ステーションをはじめとした多機関がかかわるケースの途切れない支援のため、ケース会議、関係機関との連絡会での情報共有の機会を継続的に確保
- ・ 産後、医療的ケアが必要な児への支援については、産科・保健福祉センター等からの随時の情報提供を受け、チームとして双方向の支援のもと、子育て環境を整えていく。

### 2. 定期接種（予防接種）の接種勧奨の推進

- ・ 接種医療機関への協力依頼
- ・ 健診・教室の機会をとらえて未接種者への接種勧奨

### 3. 育てにくさを感じる親に寄り添う支援の推進

- ・ 訪問・電話・来所など、柔軟な個別支援の実施を継続
- ・ 保護者等の視点に立って、保護者等の不安に応じた支援をする。

### 4. 子どものいのちを大切にする啓発事業の実施

- ・ 「お腹の赤ちゃんを大切にする加賀市生命尊重の日」の制定
- ・ 利用者支援事業(母子保健型)の推進
- ・ お腹の赤ちゃんを大切にする啓発講演会を開催